

事務事業チェックシート

事務事業No
106

事業名
観光イベント事業

[事業基本情報]

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政策	4	観光の稼ぐ力の強化
施策	2	観光客の誘致
取組方針	3	多様な誘致活動の展開

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		商工費	
	項		観光費	
	目		観光振興費	
	大事業		観光振興事業	
	中事業		観光イベント事業	

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	観光課	岩坂 真弓 435-1234
事業実施の根拠法令			関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要		
	和歌山市において様々なイベントを展開し、県内外からの観光客誘致を図る。		和歌山市において様々なイベントを展開し、県内外からの観光客誘致を図る。		
事業内容	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
	○紀州おどりの開催 ○和歌祭の開催	○紀州おどりの開催 ○和歌祭の開催	紀州おどりの開催、和歌祭の開催	紀州おどりの開催、和歌祭の開催	紀州おどりの開催、和歌祭の開催

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	18,863	18,615	23,713	21,963	21,738	21,525	21,523	0	21,523	0	
伸び率(%)	△2.8%	△4.1%	25.7%	18%	△8.3%	△2%	△1%	△100%	0%	0%	
人件費	正規職員	19,701	20,499	20,540	13,747	14,176	15,625	15,625	0	15,625	0
	正規職員以外	2,419	2,419	2,374	248	125	125	454	0	454	0
	小計	22,120	22,918	22,914	13,995	14,301	15,750	16,079	0	16,079	0
国庫支出金	0	0	11,856	10,982	10,868	10,761	10,761	0	10,761	0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源(税等)	18,863	18,615	11,857	10,981	10,870	10,764	10,762	0	10,762	0	
所要人数(人)	正規職員	2.47	2.57	2.57	1.72	1.76	1.94	1.94	0.00	1.94	0.00
	正規職員以外	0.48	0.48	0.48	0.05	0.05	0.05	0.28	0.00	0.28	0.00
主な予算内訳	紀州おどり開催交付金 11,739千円 和歌祭開催交付金 9,999千円										

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
イベント開催数		件	目標値	4	4	2	2	2
			実績値	2	2	2		
			達成度(%)	50%	50%	100%	%	%
観客動員数		人	目標値	200000	200000	200000	200000	200000
			実績値	180000	150000	170000		
			達成度(%)	90%	75%	85%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している		横ばい	○ 減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持		○		
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	イベントの支援を行うとともに事前の告知、広告活動等を適切に実施することで、市外（県外）からの観光客誘致に取り組んでいく。
見直し・改善内容	和歌祭については、2022年に和歌祭が400年を迎えるに当たり、祭りをグレードアップするため、新たな衣装の買い足し、インバウンドに向けてHPの多言語化を行う。